

幸せを齎す 自立支援ケア指標を探る

伴走型介護×価値観×みづほ式KAIGO

社会福祉法人慈雲福祉会
特別養護老人ホームアルメゾンみづほ

発表者 榎原瑞恵
共同研究者 平林誠治 湯藤小百合

社会福祉法人慈雲福祉会

特別養護老人ホーム	100名
ショートステイ事業所	20名
デイサービス事業所	30名
居宅介護支援事業所	---
配色サービス	100食

【取り組んだ課題】

利用者に幸せをもたらす真の自立支援

ICF(国際生活機能分類)
背景因子へのアプローチ
参加と活動への効果検証

福祉機器の活用による
職場環境の改善
地域と共に歩む施設づくり
おむつゼロ達成
ICT化で繋がるケア
介護ロボット導入で
根拠あるケア提供

みづほ式KAIGOの深化・
ビッグデータの構築
情報の見える化

【具体的な取り組み】

1. 人物像の類型化

各類型より無作為に5名を抽出

- A『自由奔放型』（既成観念にとらわれない、のびのびとした生活を送る方たち）
- B『職人型』（凝り性・職人気質な方たち）
- C『アカデミック型』（本物志向な方たち） → 18名
- D『人脈型』（家族等サポートが充実している方たち） → 28名
- E『マイルーム型』（個室空間での過ごし方を大切にしている方たち） → 16名

(合計100名)

2. 類型アプローチの選択 3. ケアプランの立案・実施

自由奔放 マイルーム
人脈 職人 アカデミック

【Plan】
【Do】
【Check】
【Action】

・ケアプラン見直し
・各種委員会でみづほ式KAIGO一覧表の見直し

・担当者会議にてICF指標による効果測定(参加・活動)
・家族聞き取り確認

4. みづほ式KAIGOの目次

- ① 目標・ニーズ
 - ①-1 活動・参加
- ② 専門的ケア
 - ②-1 リハビリ
 - ②-2 医療ケア
 - ②-3 看取りケア
 - ②-4 元気になる(科学的介護)
 - ②-5 認知症ケア
 - ②-6 口腔ケア
- ③ 人
- ④ サポート
 - ④-1 ソフト
 - ④-2 ハード
- ⑤ 関わり方

① 目標・ニーズ ①-1 参加・活動

イベント項目	○印	イベント項目	○印	イベント項目	○印
わくわく体操	●	ふれあいイベント	●○	水彩画教室	●○
こもれびコンサート	●○	運動会	●○	陶芸教室	●○
ピアノ交流会	●○	敬老会	●○	折り紙教室	●○
高校生交流	●	クリスマス会	●○	編み物クラブ	●○
中学生交流	●	初詣	●○	音楽療法	●○
小学生交流	●	節分会	●○	茶道クラブ	●○
託児所交流	●	ひな祭り会	●○	買い物	●○
保育交流	●	新春茶会	●○	自然観察	●○
傾聴ボランティア	●	アルメ亭	●○	絵画鑑賞	●○
カラオケクラブ	●	デリシヤ工房	●○	書道鑑賞	●○
夏祭り	●○	おやつファクトリー	●○	その他()	
文化祭	●○	外食	●○	その他()	

- 制作
- 地域交流
- 芸術
- 外出
- 季節行事
- 家族参加
- 食

③ 人

種と(中心者○)	○印
施設長	
相談員	
介護支援専門員	
介護スタッフ	
看護スタッフ	
機能訓練指導員	
理学療法士	
言語聴覚士	
歯科衛生士	
栄養士	
調理員	
家族	
知人	
歯科医師	
医師	
その他()	



④-1・2 サポート

ソフト面	○印	ハード面	○印	ハード面	○印
体調管理		杖		コミュニティホール	
ポジショニング		3点杖		クラブスペース	
ICT(記録管理)		4点杖		談話コーナー	
家族連絡		歩行器		共同生活室	
環境整備		ハッピーカー		1階ロビー	
		シルバーカー		1階喫茶	
		シルバーカー		ユニット外廊下	
		車椅子		ユニット内廊下	
		リクライニング車椅子		デパート	
		眠りスキャン		公園	
		スライフト		美術館	
		床走行式リフト		1階のお地藏さん	
		スライディングボード		駐車場	
		スライディングシート		トイレ	
		グローブ		その他()	



⑤ 関わり方

どのように	○印
積極的に関わる	
一歩引いて見守る	
賑やかに過ごす	
静かに過ごす	
大人気で関わる	
小人数で関わる	
個別で関わる	
家族が関わる	
ボランティアが関わる	
傾聴する	
スキンシップを図る	
筆談で関わる	
その他()	
その他()	
その他()	



6. 実施事例 T様

男性 93歳 介護度3 B1 IIa

＜背景因子＞
住職でありながら、高校教員。いくつかの高校立上げにも携わり、校長まで務めあげる。書籍を出版するほど短歌が好き。三人息子からは穏やかなイメージ係。肺炎での入退院を繰り返し、自宅での介護が困難になる。

アカデミック型

- 【参加・活動】
 - 書道鑑賞
 - 絵画鑑賞
 - 自然観察
- 【人】
 - 相談員○家族
 - 介護スタッフ
 - 看護スタッフ
 - 理学療法士
 - 介護支援専門員
- 【サポート(ソフト)】
 - 体調管理・記録管理
 - 排泄管理・家族連絡
 - 環境整備
- 【ハード】
 - 公園・美術館・1階ロビー
 - コミュニティホール
 - 杖・シルバーカー
- 【関わり方】
 - 積極的に関わる
 - 便秘の解消

《ケアプラン》

目標Ⅰ 短歌を作りつづけたい

- ① 地元の名所めぐりを企画。
- ② 季節を感じながら、鑑賞披露。そして傾聴。
- ③ 施設内外散策ポイント一覧を作成し毎月提示。
- ④ 製作に集中できる居室設定。(家族とスタッフ)
- ⑤ 日課に製作援助時間を設定
- ⑥ 便秘の解消(水分、歩行の目標見直し)。
- ⑦ 施設内ではシルバーカー使用、外出時は杖を使用。

目標Ⅱ 短歌を披露し見てもらいたい

- ① 施設内行事での披露を設定。
- ② 知人、教え子等の把握、招待状づくり支援。
- ③ 掲示に必要な物品の確認、準備。(家族とスタッフ)



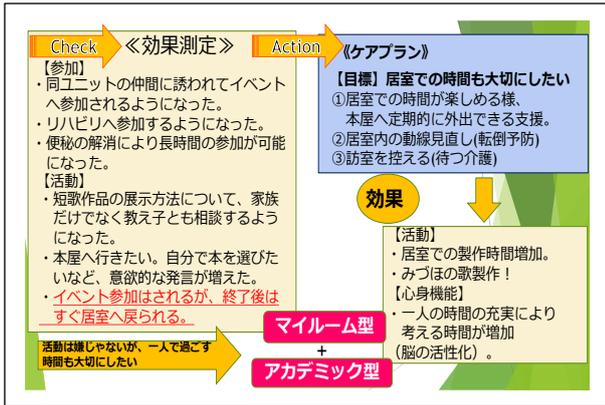
地元の名所めぐりで鑑賞を語る。



季節を感じる外出で短歌の材料探し。



短歌のお披露目会にて教え子たちと。



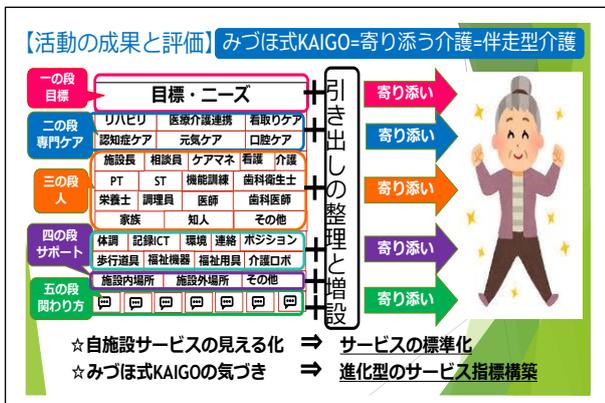
価値観＝生きがい
文学に触れ、生涯学び続けながら
生きた証を残したい！

みづほの歌

職員 作曲

一、
悠々と永久に流るる 木曾の阿
濃尾平野のただ中に
火を噴く御嶽 遠く見て
歴史を誇る 一の宮
桃源郷にみづほあり

三、
平安時代の名国司
大江匡衡土穿ち
みづほ浪打つ肥沃の地
日本一の安らぎを
我れ目指すはアルメgren



ご清聴ありがとうございました